

# 授業改善等に関する報告書（2022年後期）短期大学部

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (後期) 短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Integrated English b (③)	飯泉 恵美子 ライ, ホア	今回のクラスでも、改善点や、説明にもっと時間を割いた方が良さそうな箇所をいろいろと見つけることができましたので、ここは改善強化します。ホリデーカードやコメント発信で、世界とのコミュニケーションを楽しみながら学べたのではないかと思います。このような取組は、卒業後もぜひ続けてください。
Integrated English b (⑥)	三田 薫 ライ, ホア	「英語のスピーキング、リーディング能力が向上した」「GTECの点数が上がった」といったコメントから、皆さんが英語学習に取り組んでその成果が得られたことを確認できました。これからも英語に触れる機会を積極的に作って、楽しく国際交流できることを目指しましょう。
Integrated English b (⑦)	エドワーズ, マイケル・アンソニー 久保田 佳枝	I was happy to see that students enjoyed the 3-Way Speaking activity and seemed to improve each time. I hope it will encourage students to become more motivated to continue studying English. このクラスの学生のみなさんの多くは、おそらく英語に対して苦手意識が持っている人が多かったと思います。にもかかわらず、英語4技能向上に向けたグループ学習において、皆さんよく頑張っていたことは理解しています。日コミの学生さんは当該授業のみが短大時代で唯一の英語ですが、一年を通して学んできた高校までの英語授業とは全く異なるスタイルと内容を忘れずに今後の皆さんの将来にお役に立ていただけますことを期待いたします。
オープン講座③	大塚 みさ 栗田 智子	全回答者が受講を通して自分の成長を実感していること、また授業の満足度自体も高かったことを大変うれしく思います。 授業は異文化理解やSDGsに関するレクチャーやグループワーク、そしてイベント準備とイベント本番とさまざまでしたが、自由記述でこれらのすべてが言及されていました。中でも特に、チーム内のコミュニケーション、協力の大切さに触れる意見、そして行動力、課題解決能力など、本学のDPやPROGテストのコンピテンシーにかかわる点が伸びたという声が多く寄せられていましたが、担当教員の目にもみなさんの成長ぶりは明らかでした。 授業での学びを、今後の学生生活、そして卒業後の社会生活の中で行かしていったら幸いです。
オープン講座⑤	武内 一良	就職活動の準備のために用意された授業ですので決して楽しい内容ではありませんが、「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」の問いに対して60.6%、約6割の学生が成長したと答えている点に注目したいと思います。授業への関心が高く、自分の将来を考えて行動した学生が少なくとも6割いたことを示しています。この授業を設置した効果であると考えたいところです。
キャリア英語 b	飯泉 恵美子	今回のクラスでも（毎回のことですが）、改善点や、説明にもっと時間を割いた方が良さそうな箇所をいろいろと見つけることができましたので、ここは改善強化します。 予習課題と復習課題が毎回あるクラスだったので、かなり苦勞があった分、やりがいもあったと思います。 英語は一生使えるツールになります。使う機会を絶やさないようにしてください。
社会心理学	大倉 恭輔	社会心理学の面白さを、もうひとつ伝えきれなかったようです。 補足の部分をもう少し工夫してみます。
女性とライフサイクル	西脇 智子	授業に対する自己評価が総合的に満足いただけたことは、新しい取り組みとして大変励みになりました。毎年、内容は変化していくことになりませんが、説明の分かりやすさなど、高評価を得た部分について、次年度以降も工夫して取り組んで行ければと思います。
情報リテラシー1 b (基礎⑤)	飯泉 恵美子	就職すると当然のようにパソコンを使います。 表計算は仕事の場で欠かすことができません。 このクラスをスタートにして、生涯活用できるパソコン力を身につけることができたと思います。 クラスの課題は量もあり、なかなか厳しかったはずですが、ひとりひとり、とてもよくがんばったと思います。
創作と芸術	高瀬 真理子	オンデマンド授業は、資料の準備や加工、画面共有の適用具合と相俟って、非常に神経を使いました。評価が割れているところがあるので、その点は、よく考えていきたいと思います。丁寧すぎると重たくなるけれども、学問である以上資料を多めに参考資料として貼ったものが負担になったのかもなどと考えています。 直接やりとりしないが故の、受講者の声をどのように拾うのか、これも課題かと思っています。